

建設コンサルタント業務における  
ビッグデータ(SNS)の活用事例と可能性  
開会挨拶

国土情報専門委員会  
委員長 上山 晃

# 国土情報専門委員会の活動紹介(設立の主旨)

## 国土情報の流通社会を実現するための課題とその解決方策

背景①: 地理空間情報の取得、解析・加工技術の向上

### 国土情報の整備・更新

地域防災



物流効率化



商圈分析



安価に達成し、  
効果を最大化

国土情報の流通  
国土情報の利活用

気象サービス



ナビゲーションサービス

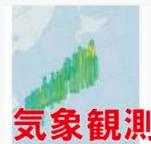


国土情報に係る制度設計

背景②: 地理空間情報活用推進基本法の施行  
(平成19年8月)



リモートセンシング



気象観測



水位観測



航空測量



地質調査



森林管理



道路管理



敷地調査

このためには  
国土情報の流通・利活用を促進すること  
および、これに社会全体で取り組むこと  
が重要

※国土に関する情報≡全ての地理空間情報

# 国土情報専門委員会の活動紹介

- ①建コンの次世代商品として、国土情報を利用したビジネス展開を模索
  - ②災害対応の実態を踏まえ、建コンの取り組みを国土情報の視点から再検証
    - 調査・計画・設計等の業務を通じて培った国土情報を取り扱う技術  
(交通量, 事故, 気象, 土地利用, 人口…)
    - 進展する情報通信技術 (ICT)
- ⇒ 国土情報のノウハウ (優位性): 「社会資本のトータルマネジメント」  
「新たな分野へのビジネス展開」

## 【これまでの取り組み】

- H21) ● 主要な施策やプロジェクトを参考に、国土情報の定義を整理
- 将来の社会像に則した国土情報を利用したビジネスのコンセプトを提起
  - 国土情報を利用したビジネスを創出するために必要となる仕組みの整理
  - 国土情報を利用したビジネス展開イメージの整理
  - 災害時における国土情報の利用実態の把握
  - 国土情報の活用シナリオの具体化
- H26) ● 国土情報としてのビッグデータの活用可能性調査

本セミナーでは、**ビッグデータの活用事例研究成果**を報告

# 国土情報としてのビッグデータの活用可能性調査に至る経緯

- ①自らの情報発信による国土情報の流通促進・活用可能性拡大
- ②ビッグデータからの抽出による国土情報の活用可能性追求

## ① 自らの情報発信

- 位置情報及びハッシュタグ“ex.#国土情報”を付した情報発信を促進し、国土情報の活用可能性を拡大できないか  
(例えば、協会会員(専門家)によるプライベートな情報発信により、社会資本の劣化状況を精度良く把握できないか)
- まずは、当委員会メンバーにて情報発信→(その後、活動を拡大)  
・・・実際は、投稿数・活用情報にムラ

## ② ビッグデータからの抽出(方針変換)

- Twitter等のSNS投稿情報より、業務に必要な情報を抽出・利用できないか
- 当該分野のプロである「株式会社ホットリンクコンサルティング」へ協力を依頼

本セミナーでは、**②ビッグデータからの抽出**について報告

# 本日の議題

建設コンサルタントとして業務に従事している技術者の方々向けに

①ビッグデータ(のうちSNS)に係る活用事例・活用方法の紹介

②建コン業務を題材にその具体的な活用可能性の提案

## 本日の報告事項

○第一部 他業界におけるビッグデータ(SNS分析)の活用例

株式会社ホットリンクコンサルティング 神子島 隆仁氏

○第二部 建設コンサルタンツ業界における活用可能性

国土情報専門委員会

ア. 防災分野の活用可能性 (H25台風18号)

イ. 道路経済調査分野の活用可能性 (圏央道開通)

当業界における今後の活用可能性、発展性

～ 是非、活発な意見交換・質問をお願いします！ ～